

# 平成23年第1回函館市教育委員会定例会 会議録

- 1 日 時 平成23年1月12日(水) 午後1時30分
  - 2 場 所 教育委員室
  - 3 出席委員 橋田委員長, 小葉松委員, 星野委員, 多賀谷委員
  - 4 欠席委員 河村委員
  - 5 事務局 妹尾生涯学習部長, 平馬学校教育部長, 小林生涯学習部次長,  
岡崎生涯学習部次長, 対馬管理課長
  - 6 傍聴者 なし
  - 7 付議事項
- 日程第1 議案第1号 平成22年度教育委員会関係補正予算要求に関し, 議決を求めることについて
- 日程第2 議案第2号 函館市スポーツ振興審議会委員の解任に関し, 議決を求めることについて
- 議案第3号 函館市スポーツ振興審議会委員の委嘱に関し, 議決を求めることについて
- 日程第3 報告事項
- ・函館市若者の居場所づくり調査報告書について
  - ・「平成22年度全国学力・学習状況調査結果」函館市の概要について
- 日程第3 調査事項
- ・戸井高等学校の募集停止について

## ■橋田委員長

- 開会宣言 午後1時30分
- 議事録署名人に, 小葉松委員, 星野委員を選任。
- 本日の議案のうち, 日程第1, 議案第1号「平成22年度教育費補正予算要求に関し, 議決を求めることについて」および日程第4, 調査事項「戸井高等学校の募集停止について」を秘密会としたいがいかがか。
- 異議がないので, 秘密会とさせていただきます。
- 日程第1, 議案第1号「平成22年度教育委員会関係補正予算要求に関し, 議決を求めることについて」を諮る。

(秘密会につき, 会議録省略)

## ■橋田委員長

- 議案第1号は, 原案のとおり可決する。
- 次に, 日程第2, 議案第2号「函館市スポーツ振興審議会委員の解任に関し, 議決を求めることについて」および議案第3号「函館市スポーツ振興審議会委員の委嘱に関し, 議決を求めることについて」を一括諮る。

■生涯学習部長

- 第2号および議案第3号の2件について、順次、説明する。
- 議案第2号「函館市スポーツ振興審議会委員の解任に関し、議決を求めることについて」は、推薦団体からの申し出により、現委員、金谷志織氏を平成23年1月12日をもって解任しようとするものである。
- 議案第3号「函館市スポーツ振興審議会委員の委嘱に関し、議決を求めることについて」は、解任委員の後任として、田中弘道氏を平成23年1月12日から前任者の残任期間である平成23年12月21日まで委嘱しようとするものである。

■橋田委員長

- 議案第2号および議案第3号は、原案のとおり可決する。
- 日程第3、報告事項1点目、「函館市若者の居場所づくり調査報告書について」を生涯学習部長から報告を求める。

■生涯学習部長

- 報告事項「函館市若者の居場所づくり調査報告書について」報告する。
- 既にご報告したところであるが、本年度については、青年センターが行う「ユースカフェダベリバー」を通じ、本事業の実施に向けた課題などについて、調査研究を委託したところである。
- 手元に配付しているとおり、この度、受託者である特定非営利活動法人函館市青年サークル協議会から調査報告書が提出された。
- 調査報告書については、市内7高校の2年生、計1,431人を対象にアンケート調査を実施し、その結果を基に高校生の生活実態や潜在的に求めている居場所を明らかにするとともに、関係機関との連携や施策として「ダベリバー」の継続について提言しているところである。
- こうした調査結果を踏まえ、平成23年度においては、「ダベリバー」に集まる高校生などを対象に、ワークショップの開催や教養講座の実施、社会参加など具体的な取り組みを委託し、平成24年度以降については、「居場所づくり事業」を指定管理者が行う事業に位置づけていきたいと考えている。
- なお、調査報告書の概要については、1月25日に開催するダベリバースタッフとの懇談会において説明することとしている。

■橋田委員長

- 報告事項2点目、「平成22年度全国学力・学習状況調査結果」函館市の概要について学校教育部長から報告を求める。

■学校教育部長

- 「平成22年度全国学力・学習状況調査結果の公表」について報告する。
- 「平成22年度全国学力・学習状況調査」の本市の結果においては、これまで11月と12月の定例会で委員の皆様へ報告したが、この度、学校と市民に結果を公表するため、別紙のとおり資料を作成した。
- 前回の報告後の経緯としては、12月20日に「平成22年度全国学力・学習状況調査結果説明会」を開催し、これまで定例会で報告した内容を改めて説明した。
- 各学校では、道の公表にあわせて子どもへの個票の返却や学校としての結果の概要説明、今後の方針等の周知に取り組んでいるが、市全体の結果の概要と課題の改善方策を公表するものである。

- 結果の概要は、個別の得点は公表していない。これまで同様に全国の平均正答率と、3%以内の場合は「定着」、3.1%~5%以内の場合は「概ね定着」、5.1%以上の場合は「改善が必要」としている。
- また、今年度の調査結果だけではなく、設問ごとの誤答や無回答の傾向、過去数年の結果との比較から、授業改善に必要なポイントを「学校における学習活動の改善方策例」として示すとともに、昨年同様「学校の学習を生かした家庭学習の参考例」として記載している。
- 例えば、小学校国語、学校では、「文字数や時間など、条件や制限に応じて、自分の考えをまとめて書く」こと、家庭では「楽しかったことを50字程度でまとめて書くこと」、3ページにあるように、小学校算数、学校では「日常生活と関連付けて、式の意味や量の表し方を考えて説明すること」、家庭では「解き方を自分の言葉でノートに書くこと」など具体的な方策を示した。
- これらのことは、平成23年度の学校教育推進の指針である「アプローチ」にも具体的に示し、結果を踏まえた改善方策の一貫性を強調していきたいと考えている。
- 学校質問紙の回答では、取組の充実が目立った反面、児童生徒質問紙では、学習習慣は定着しているものの、テレビやゲーム、インターネットに多くの時間を費やしているという実態を踏まえ、アプローチに「自律的な生活態度を育てる取組の工夫」を示すとともに、昨年度、全児童生徒に配布した家庭掲示用ポスターのパート2を作成した。
- 解決に向けた実効性のある取り組みを学校が始めていること「だいたい分かっているけど、あと一步の定着が不足している」、「その時は分かったつもりだったが、あと一息の理解が曖昧になっている」という子どもが多いことから、「あと一步で輝く自分へ」をポスターのサブテーマにするとともに、アプローチのサブテーマも「すべての学校が『あと一步』前進するための道筋」として原案を作成している。
- 公表用資料については、明日、学校あてに送付するとともに、ホームページにも掲載する予定となっている。

■橋田委員長

- キャッチコピーは大事である。あらゆる機会でも話をする場面があるので、絶えずこれを掲げながら訴えてほしい。
- 日程第3、調査事項「戸井高等学校の募集停止について」学校教育部長に説明を求める。

(秘密会につき、会議録省略)

■終了宣言

- 午後2時33分

議事録署名人 小葉松 洋子

〃 星野 立子

調製者庶務係 山本 茂義